上野西部地区住民自治協議会のワークショップと犬山祭保存会訪問

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 犬山祭保存会の主要な説明 | 上野西部自治協のワークショップでの意見・提案 |
| 祭とまちづくり | 祭の継続がまちづくりを支える  犬山祭保存会の理念は地域コミュニティをつなぐ、ひきつぐ、ささえるであり、犬山祭をすることは犬山祭保存会の目的ではなく手段です。目的はまちづくりを支える仲間のネットワークを作ることです。 | ・昔あった甘酒のふるまい等を復活する。  ・西部自治協のまちづくり計画の見直しを検討する。  ・西部自治協に天神祭関係の部会を設ける  ・祭を知っている人が積極的に情報発信する  ・観光客へのおもてなし・お接待を工夫する  ・自分の町のだんじり・鬼について良く知る。観光客に自慢できるように。 |
| 担い手育成 | 中高生が将来の犬山祭の担い手  若い頃から囃子を聞き、からくりを体験することが次世代の祭人の育成になります。  その為、中高校のクラブの指導に伺っています。クラブ活動の発表の場も設けています。 | ・西部自治協で曳き手等応援者を募集する。  ・伊賀市内の小学校へお囃子体験の出前講座をする。  ・高校生との交流を考える。女子高生の意見を聞く。  ・鬼・だんじりの勉強会を開き子ども達に知ってもらう。  ・祭の歴史などを広く伝えていく。  ・子どもさんのお囃子演奏会をする。 |
| 保存会組織 | 犬山祭保存会の大切な委員会のリーダーは若手に任せています。  犬山祭保存会は一般社団法人で多くの委員会があります。その中で大切なのは企画広報委員会と事務局です。どちらのリーダーも会長が若手を指名しました。 | ・運営事務局の一本化  ・保存会の法人化と強化  ・広報担当を若手に任せる  ・SNSやYouTubeを使える人が進んで発信する  ・SNS担当を設ける。  ・人の多い町から少ない町へ人手を回すような融通の利  く体制づくり |
| その他 |  | ・祭のチラシを東部や南部地区にも全戸配布する。  ・土用干しや準備を含むいろんなまつり行事を発信する。  ・写真・ビデオ等の記録を次世代に残す。  ・祭のロゴやマスコットを作る。  ・祭ポスターを園児や小学生から募集する。  ・ラインスタンプやガチャポングッズを作る  ・有料観覧席を設ける。  ・体験版見学ツアー（ガイド付き）  ・だんじり会館での鬼体験  ・祭のサポーター制度を導入  ・鬼と忍者を絡めたグッズの開発・販売  ・DMOと共同でツアーやコンテンツを作り収益化  ・空家の活用  ・駐車場の確保。  ・祭期間中に滞在型イベントを組む  ・伊賀鉄道とのコラボで祭や他の伝統を掲示や演奏 |

（注）ワークショップは令和6年８月２９日開催、犬山市犬山祭保存会への訪問は同年９月２２日実施